

```

PRG_SEND
TITLE,"sample program 7"
// [TEXTFT] [TEXTFTSCR] [SETTEXTFTSIZE]コマンドのサンプルプログラム
// "PRG_SEND" はプロトコル転送の通信開始の要求をします。
// "TITLE"は停止中にF2を押すことにより表示されます。必ず20文字で入力してください。
// ラインの先頭が"//" の場合は命令文ではありません。任意にコメントを書き込むことが出来ます。
// LEDパネルの左上の隅がX座標0（横方向）、Y座標0（縦方向）です。

LABEL_1
// ラベル1として登録

FILLSCREEN,0,0,0
// フィルスクリーン表示、RED:0/255, GREEN:0/255, BLUE:0/255（消灯／黒）

SETCURSOR,0,0
// カーソルの位置を設定。[TEXT] [TEXTFT] コマンドに適応される。
// X座標0、Y座標0

SETTEXTCOLOR, 255, 0, 255, 0, 0, 0
// テキストの色と背景の色を指定。[TEXT] [TEXTFT] [TEXTFTSCR] コマンドに適応される。
// 文字色—RED:255/255, GREEN:0/255, BLUE:255/255（桃色）、背景色—RED:0/255, GREEN:0/255, BLUE:0/255（消灯／黒）



---


// パターン1


---



SETTEXTFTSIZE, 1, 1
// フォントサイズを標準に設定

TEXTFT, "<日本語の表示>"
// フォント表示、フォント変換されて表示される

WAIT, 2000
// 2000ミリ秒待ち

SETBRIGHTNESS, 0
// 表示の明るさを0（消灯）にする。表示内容は保持される。

WAIT, 2000
// 2000ミリ秒待ち

FILLSCREEN, 0, 0, 0
// フィルスクリーン表示、RED:0/255, GREEN:0/255, BLUE:0/255（消灯／黒）

TEXTFT, s"縦横2倍<日本語の表示>""
// 's'によりメモリー0への書き込みをして、事前にフォントデータに変換される。表示なし

WAIT, 2000
// 2000ミリ秒待ち

SETBRIGHTNESS, 255
// 表示の明るさを255（全灯）にする。表示内容は保持されている。

SETTEXTFTSIZE, 2, 2
// フォントサイズを縦2倍、横2倍に設定

TEXTFTSCR, 0, 0, 0, 0, 0, 127, 15, 1, 999, 1, 0
// 右から左へのスクロール表示です。回数999とX方向処理1の指定により文字数と右端からスクロール回数と表示開始位置を自動設定(X方向のみ)します。
// メモリ-0、表示座標X:0/Y:0、表示範囲X:0:0/Y:0:0-X1:127/Y1:15、スクロール間隔係数、スクロール回数、X方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)、Y方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)

WAIT, 1000
// 1000ミリ秒待ち


---


// パターン2


---



SETTEXTFTSIZE, 1, 1
// フォントサイズを縦1倍、横標準に設定

SETTEXTCOLOR, 255, 0, 0
// テキストの色を指定。[TEXT] [TEXTFT] [TEXTFTSCR] コマンドに適応される。
// 文字色—RED:255/255, GREEN:0/255, BLUE:0/255（赤色）

TEXTFT, 1"日本語表示を16×16ドット"
// '1'によりメモリー1への書き込みをして、事前にフォントデータに変換される。表示なし

TEXTFT, +“東雲フォントで出来ます。”
// 前コマンドにより指定のメモリー1への追加の書き込みをして、事前にフォントデータに変換される。表示なし

WAIT, 1000
// 1000ミリ秒待ち

```

```

TEXTFTSCR, 1, 0, 0, 0, 0, 127, 15, 10, 999, 1, 0
// 右から左へのスクロール表示です。回数999とX方向処理1の指定により文字数と右端からスクロール回数と表示開始位置を自動設定(X方向のみ)します。
// メモリ-1、表示座標X:0/Y:0、表示範囲X0:0/Y0:0-X1:127/Y1:15、スクロール間隔係数、スクロール回数、X方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)、Y方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)
// フォントサイズ指定の縦2倍に対応した表示範囲も自動設定している。
//
TEXTFTSCR, 1, 0, 0, 0, 0, 127, 15, 10, 999, 2, 0
// 左から右へのスクロール表示です。回数999とX方向処理2の指定により文字数と左端からスクロール回数と表示開始位置を自動設定(X方向のみ)します。
// メモリ-1、表示座標X:0/Y:0、表示範囲X0:0/Y0:0-X1:127/Y1:15、スクロール間隔係数、スクロール回数、X方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)、Y方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)
// フォントサイズ指定の縦2倍に対応した表示範囲も自動設定している。
//


---


// パターン3
//
SETTEXTFTSIZE, 2, 1
// フォントサイズを縦2倍、横1倍に設定
//
SETTEXTCOLOR, 0, 255, 0
// テキストの色を指定。[TEXT][TEXTFT][TEXTFTSCR]コマンドに適応される。
// 文字色—RED:0/255, GREEN:255/255, BLUE:0/255 (緑色)
//
TEXTFT, 2"縦2倍、JIS第2水準漢字対応"
// '2'によりメモリー2への書き込みをして、事前にフォントデータに変換される。表示なし
//
TEXTFT, +"、記号、半角もあります。"
// 前コマンドにより指定のメモリー2への追加の書き込みをして、事前にフォントデータに変換される。表示なし
//
TEXTFTSCR, 2, 0, 0, 0, 0, 127, 15, 5, 999, 1, 0
// 右から左へのスクロール表示です。回数999とX方向処理1の指定により文字数と右端からスクロール回数と表示開始位置を自動設定(X方向のみ)します。
// メモリ-2、表示座標X:0/Y:0、表示範囲X0:0/Y0:0-X1:127/Y1:15、スクロール間隔係数、スクロール回数、X方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)、Y方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)
// フォントサイズ指定の縦横2倍に対応した表示範囲とスクロール回数も自動設定している。
//


---


// パターン4
//
SETTEXTFTSIZE, 1, 2
// フォントサイズを縦標準、横2倍に設定
//
SETTEXTCOLOR, 0, 0, 255
// テキストの色を指定。[TEXT][TEXTFT][TEXTFTSCR]コマンドに適応される。
// 文字色—RED:0/255, GREEN:0/255, BLUE:255/255 (青色)
//
TEXTFT, 3"横2倍、式汚不个卯丶并ノ又乖乘亂"
// '3'によりメモリー3への書き込みをして、事前にフォントデータに変換される。表示なし
//
TEXTFTSCR, 3, 0, 8, 0, 8, 127, 23, 10, 999, 1, 0
// 右から左へのスクロール表示です。回数999とX方向処理1の指定により文字数と右端からスクロール回数と表示開始位置を自動設定(X方向のみ)します。
// メモリ-3、表示座標X:0/Y:8、表示範囲X0:0/Y0:8-X1:127/Y1:23、スクロール間隔係数、スクロール回数、X方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)、Y方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)
// フォントサイズ指定の横2倍に対応したスクロール回数も自動設定している。
//


---


// パターン5
//
SETTEXTFTSIZE, 1, 1
// フォントサイズを標準に設定
//
SETTEXTCOLOR, 255, 255, 0
// テキストの色を指定。[TEXT][TEXTFT][TEXTFTSCR]コマンドに適応される。
// 文字色—RED:255/255, GREEN:255/255, BLUE:0/255 (黄色)
//
TEXTFT, 4"☆★○●◎◆□■△▲▽▼"
// '4'によりメモリー4への書き込みをして、事前にフォントデータに変換される。表示なし
//
TEXTFT, +"※〒→←↑↓"
// 前コマンドにより指定のメモリー4への追加の書き込みをして、事前にフォントデータに変換される。表示なし
//
TEXTFTSCR, 4, 0, 0, 0, 0, 127, 15, 10, 999, 1, 0
// 右から左へのスクロール表示です。回数999とX方向処理1の指定により文字数と右端からスクロール回数と表示開始位置を自動設定(X方向のみ)します。
// メモリ-4、表示座標X:0/Y:0、表示範囲X0:0/Y0:0-X0:127/Y1:15、スクロール間隔係数、スクロール回数、X方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)、Y方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)
//


---


// パターン6
//
TEXTFT, 5"1234567890 ABCDEFGHIJ"
// '5'によりメモリー5への書き込みをして、事前にフォントデータに変換される。表示なし

```

```
//  
SETTEXTCOLOR, 0, 255, 255  
// テキストの色を指定。[TEXT] [TEXTFT] [TEXTFTSCR]コマンドに適応される。  
// 文字色--- RED:0/255, GREEN:255/255, BLUE:255/255 (水色)  
//  
TEXTFT, +“abcdefghijklmnopqrstuvwxyz アイウオガキケゴ”  
// 前コマンドにより指定のメモリー5への追加の書き込みをして、事前にフォントデータに変換される。表示なし  
//  
TEXTFTSCR, 5, 0, 16, 0, 16, 127, 31, 10, 999, 1, 0  
// 右から左へのスクロール表示です。回数999とX方向処理1の指定により文字数と右端からスクロール回数と表示開始位置を自動設定(X方向のみ)します。  
// メモリ-5、表示座標X:0/Y:0、表示範囲X0:0/Y0:16-X1:127/Y1:31、スクロール間隔係数、スクロール回数、X方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)、Y方向処理(0:無し/1:-1/2:+1)  
//  
//  
WAIT, 5000  
// 5000ミリ秒待ち  
//  
JUMP, 1  
// ラベル1にジャンプ  
//  
END  
// プログラム終了
```